

16. 市民後見人による後見人制度の普及と高齢者の生活相談

グループ名 特定非営利活動法人一期の会^{いちご}

代表者 代表理事 野澤 ヒロ子

① 活動の目的

認知症高齢者で判断能力の欠落により、後見人制度の利用を必要としている人達が多くいるが専門家への費用の支払いを負担に感じ、利用をためらっている人達が多数いる事も事実です。費用軽減を図るためにはNPO法人による市民後見人の利用を推進する必要があると思ひ、「シニアによる、シニアの為の元気なシニア社会」を目指す事を理念とし、成年後見人制度を普及させ、市民後見人の活躍できる社会になる事を目的とする。

② 活動概要

「法定後見」の作成支援や「任意後見」の利用の推進、見守り活動、有料老人ホームの調査や比較表の作成、ライフプラン等の作成支援、確定申告の相談、出前講座を4回行った。更に、古切手整理サロンを始めた。

③ 活動の詳細内容

○老々介護の高齢者、奥様介護1（認知症）、ご主人介護2

傾聴ボランティアを行っていたが、昨年11月、奥様グループホームに入居、本人帰宅願望有、ご主人に対し高齢者施設と費用等の情報提供を行った。

○父親（介護2）を70歳の長女が面倒を見ている

昨年10月母親死去、結婚歴がない為、今後について相談、異父の弟が1人いるが、会社（従業員3名）を経営している為、福祉に関する知識不足。

○確定申告についての相談（医療費控除）

○独居老人（88歳）、将来の高齢者施設入居等生活支援について相談

○ライフプラン作成支援

○見守りのため継続訪問3件（述べ30件）

○後見制度の普及と啓蒙について

出前講座を実施、平成29年度も出前講座継続予定

○情報収集のツールとして古切手整理サロンを開催

チラシ 300 枚配布したが、認知度低く、一回目は不振、二回目に期待。

④ 決算報告書

収 入	大同生命厚生事業団助成金	100,000円
	自己負担分	6,511円
収入計		106,511円
支 出	① 消耗品費	43,848円
	・印	18,662円
	・プリンタインキ	18,229円
	・文具類	5,457円
	・用紙	1,500円
	② 交通費	30,600円
	③ 通信費	10,855円
	④ 会費	10,500円
	⑤ 修繕費	7,850円
	⑥ 印刷費	2,858円
支出計		106,511円

